

日光道中
奥州道中

〔驛肝錄〕諸家旅行ニ付人馬遣高問合之節心得組不同○略中

日○光○道○中

貳拾万石以上

當日并前後二日、都合五日、貳拾五人、貳拾疋、○略下

〔京都午睡三編中〕千住は、奥州街道の咽喉にして、板橋よりは宿も廣く、家居も遙に奇麗なり、大橋を中に置て、大千住、小千住とて南北に分れり、小千住の方を掃部宿とも云ふ。

〔和漢三才圖會六十七〕從江戸到日光山行程凡三十四里

江戸	二里	千壽	二里八町	角田川	草加	一里二十	八町	越谷	二里三町	幽谷	一里半	杉戸	一里七町	幸手	二里
三町		栗橋	二十町、有川	東太郎郡、爲兩國界	自	此下總國		中田	一里	復下總國	自此	古河	六十町	野木	二十町
新田	一里二十九町、左行	日光右行	奥州道、	飯塚	一里二十二町	壬生	二里二十六町、有壬生川	二連木	一里二十一町	儘田	一里半自	小山	一里		
町板橋	十一里二十八町	今市	里一	鉢石	町八			鹿沼	二里八町	此下野國					
到奥州羽州道筋	出下野之小山新田道如左、							文挾	十三						

新田	下野芋塹新田、自此到金井一里近	金井	一里半	石橋	五町里半	雀宮	二里	宇都宮	二里半	其地民屋賑	白澤
一里半、有川渡、三里	半、自此至白川	宇治江	二里四町	喜連川	三里、有那須	佐久山	半餘一里	大田原	十三町里	鍋掛那須野原有	蘆生

甲州道中

〔京都午睡三編中〕内藤新宿といふは、大城の眞西に當つて、甲府及び青梅街道の咽喉なれば、是又賑はしき驛なり、女郎宿屋も家居廣く、茶屋も甚多けれど、舊内藤侯の屋敷地にて、内藤新宿と呼び、山手にて田舎街道なれば、表手は多く藪か畠か崖地にして閑静なり。

〔道中秘書〕中山道往來之事、附甲州道中。

寛政十一末年、中山道往來之義ニ付、松平伊豆守殿○老道中奉行江被仰渡、同年九月廿九日、井上